



北陸地方での飼料用 ビート夏まきの可否

問 今春、豚の飼料として家畜ビートを作付計画のところ、いろいろ都合あって、遂に中止いたしました。冬期から早春用として、これまでの下総かぶ栽培面積の一部を家畜ビートに置き換えたいと考えています。夏期七〜八月播きでは、どうでしょうか。病害の発生とか収量等、見当つきませんで、ご指示下さい。

(新潟県北蒲原郡 野沢金市)

答 (一) 貴地方での飼料用ビートの七〜八月播きは先ず可能性がありません。それは

1 生育期間の平均気温は一二〜二〇度が好適であること。

2 生育期間(一五〇〜一八〇日)積算温度は二五〇度前後必要ですが、生育の初期は一〇〜一五度、中期は一五〜二〇度、後期は一五〜一〇度内外という気温移行が良好な生育を期待できます。

3 暖地の高温期での栽培は葉の病害褐斑病が多発し生育が阻害される。

この頁は読者のために開放しております。酪農関係のご質問、ご感想、本誌に対するご意見、或は経営の概要、試作試験、地方のニュースなど、どしどしお寄せ下さい。ご質問以外の掲載分には粗品を進呈いたします (係)

4 暖地での八月まきは立枯病、根腐病の多発の可能性がある等々生育期間の気温と病害の関係で良好な成績を期待できないからです。

(二) 飼料用ビートを貴地方で栽培する場合は早春まき、夏どり利用、つまり冬期の貯蔵根菜としてではなく、牧草の夏枯時利用をはかれた方がよいでしょう。

この春まきの作季を弊社千葉農場の調査結果に基いて示しますと次の通りです。

三月	四月	五月	六月	七月	八月
△	△	△	○	○	○
播種	播種	播種	播種	播種	播種
開引	開引	開引	開引	開引	開引
中耕	中耕	中耕	中耕	中耕	中耕
散布	散布	散布	散布	散布	散布
薬劑	薬劑	薬劑	薬劑	薬劑	薬劑
散布	散布	散布	散布	散布	散布
取かく	取かく	取かく	取かく	取かく	取かく
利用	利用	利用	利用	利用	利用

播種はなるべく早く、発芽後一〜四度の低温に長期間さらされずと抽臺する傾向が強まりますが、たまたの低温では零下四度くらい迄は影響ありません。生育期間を高温の夏に延長するよりも早春に延長した方が好成績を得られます。

(三) 夏まきはビートをやめてルタバガを冬期間の長期貯蔵力のある根菜としてはビートの他にルタバガがあります。ルタバガは寒さにも強く、かぶよりも遅くまで生

育させて収かく出来、肉質も堅く貯蔵性に富み、豚や乳牛も好食します。

作り方はかぶよりも生育日数は三〇〜四〇日多く要しますので、従来のかぶの播種期に先立つこと一カ月前前に苗床(一〇坪当)四坪程度に播種四〇日苗位のものを行なっていたナタネ移植の要領で本畑に移植、貴地方では一月に収かくとなりましょう。

品種としては巨大な根菜の得られるグリントップがよいでしょう。

オーチャードグラスの病害

問 私の所では、とくに最近オーチャードグラスの葉が茶褐色になって枯れたり、かびが生えたりしますが、病気でしうか。もし病気とすると、そのみわけ方と防除法をお知らせ下さい。(福島県安積郡 一読者)

答 ご質問の内容から見てはつきりいえますが、先ず病気と見てよいでしょう。オーチャードグラスの病気は現在の所、次のようなものがあります。

○株枯病：地ぎわの葉が茶色に枯れる。

○葉腐病：葉が煮えたように腐り、くもの巣状のかびが生え、真夏に多く、とくに繁ったところや湿りの多いところに発生する。

○条播病：早春または晩秋多く発生し、葉に条状の細長い褐色の病斑が現われて枯れる。

○炭疽病：夏から秋にかけて発生し、葉に

紡錘形の斑点ができ、その表面に黒点がピロッド状に密生する。葉の裏側に多い。

○紫斑点病：梅雨時と秋の雨季に多く、葉に紫色、紫褐色の楕円形の病斑が現われ、葉は次第に枯れる。枯れたところに小黒斑が現われる。

○雲形病：雨の多いときに発生する。葉に紡錘形またはレンズ形の病斑ができ、それが重さなる雲形になる。色は淡青、淡茶等があり、病斑の囲りが茶色となる。

○赤かび病：赤かびが発生して枯れる。

○菱角病：小さな角形の黒い菌核ができる。

以上が主な病気ですが、その防除法として次のことを励行して下さい。

一 品種を選ぶこと とくに雲形病は品種間にかなり耐病性に差があります。雪印改良一号が最も強いといわれています。

二 種子消毒を行なうこと 雲形病、炭疽病、条播病は種子から伝染する場合があるので、播く前に種子消毒が望ましい。種子一きに対し、有機水銀粉剤一〇gをまぶしてから播けばよいでしょう。

三 刈り遅れないこと 刈り遅れると、葉腐病、条播病、雲形病、炭疽病の発生がとくにいちじるしくなります。

× × ×